

# 初の試み！！

## 【報道関係者向け災害対策用機械操作体験開催】

中部地震津波対策  
技術センター

中部技術事務所

平成29年7月14日、日頃、報道に携わる記者の方に災害対策用機械の操作を体験していただき、中部技術事務所の災害活動支援についてご理解いただきました。



水中ポンプと排水ホースの取付け、水中投入など実際の排水作業を体験。

排水ポンプ車



照明車(10m級・20m級)



ブームや照明灯の操作を体験することにより夜間の災害支援の雰囲気を感じ。



対策本部車

カプセルを拡幅。「現地対策本部」設営中。

待機支援車



無人航空機(ドローン)

飛行操縦を体験。被災状況調査などへの活用を説明。

投下型水位計



道路構造物点検

実際に利用されていた道路構造物を用いて損傷の様子などを説明。

平成28年熊本地震の際に南阿蘇村の斜面崩落現場へ実際に派遣された機体にて現場で行われたリモコン遠隔操作を体験。



機能確認の様子を見学。「橋梁の長寿命化と災害時の安全確保に貢献している」ことをアピール。

無人化施工バックホウ



意見交換会

今回初めての企画に対し参加者からは「実際に機械を操作でき、有意義な体験でした」と好意的なご意見をいただきました。



橋梁点検車